

令和 4 (2022)年度				年 間 授 業 計 画	
教科・科目			国語 受験現代文		2 単位
対象学年・組			3 年生		自由選択
教科書 (出版社)			スタディアーク現代文 3 ・大学入試共通 テスト国語ブレ演習・国語頻出問題 1 2 0 0		
学習目標 【観点別】			・ 受験に耐えうる知識を身に付ける。 ・ 国語に関する一般常識を身に付ける。 ・ 長文を読解し、問題に適切に解答する力を身に付ける。		
学期		予定 時数	単元 具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準
1	前半	12	問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習	問題演習、小テストなどを通じて、受験に対応できる学力を身に付けさせる。	予習を前提として取り組みせ、幅広い文章に触れながら設問に対する適切な解答が導き出せるようになる。
	後半	12	問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習	問題演習、小テストなどを通じて、受験に対応できる学力を身に付けさせる。	予習を前提として取り組みせ、幅広い文章に触れながら設問に対する適切な解答が導き出せるようになる。
2	前半	14	問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習	問題演習、小テストなどを通じて、受験に対応できる学力を身に付けさせる。	予習を前提として取り組みせ、幅広い文章に触れながら設問に対する適切な解答が導き出せるようになる。
	後半	14	問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習	問題演習、小テストなどを通じて、受験に対応できる学力を身に付けさせる。	予習を前提として取り組みせ、幅広い文章に触れながら設問に対する適切な解答が導き出せるようになる。
3		18	問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習 問題演習 国語一般常識演習	問題演習、小テストなどを通じて、受験に対応できる学力を身に付けさせる。	予習を前提として取り組みせ、幅広い文章に触れながら設問に対する適切な解答が導き出せるようになる。
評価の観点 (評価基準)			受験問題の演習を通じて、予習など積極的に問題に取り組んだか、また解けるかを評価の観点とする。		
評価の方法			定期考査と学習状況（提出物、出席状況、授業態度）を総合的に評価する。		
学習の手引き			スピード感をもって、多くの文章と問題にあたることで、読解力・解答する能力を高めていきます。わからないのは当たりまえですが、そのことを言い訳に考えることをやめないようにして取り組むこと。		
授業担当者			明正 利恵・花嶋 幸子・佐々木 研		